

少年少女世界伝記全集

野口英世

須知 徳平



主婦の友社版

少年少女世界伝記全集 I

野口英世

	須 知 徳 平
	野口英世 主婦の友社 昭和52年(1977)11月30日発行 168p 22cm 〔分類〕909

筆 者	須 知 徳 平
発 行 者	石 川 晴 彦
印刷・製本	凸版印刷株式会社
定 価	480円
発 行 所	株式会社 主婦の友社 東京都千代田区神田駿河台 1-6 郵便番号 101 振替 東京 2-180番 電話 東京(03)294-1111(大代表)

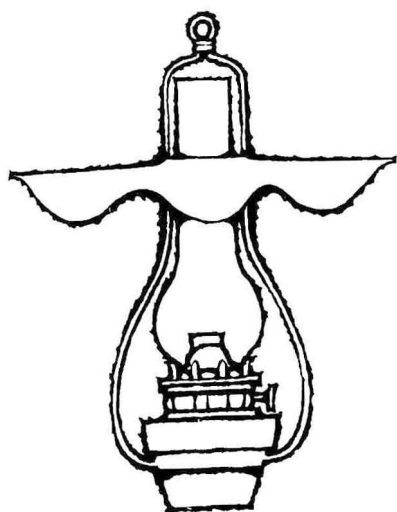
©1977 落丁・乱丁はおとりかえします。 著者との話しあいにより検印廃止。

少年少女世界伝記全集

野口英世

文・須知徳平

絵・市川禎男



主婦の友社版

デザイン 駒宮録郎
装丁



またたく間に、まっ黒い煙が、天をおおい、火山灰が、
ばらばらふってきました。磐梯山が、噴火したのです。





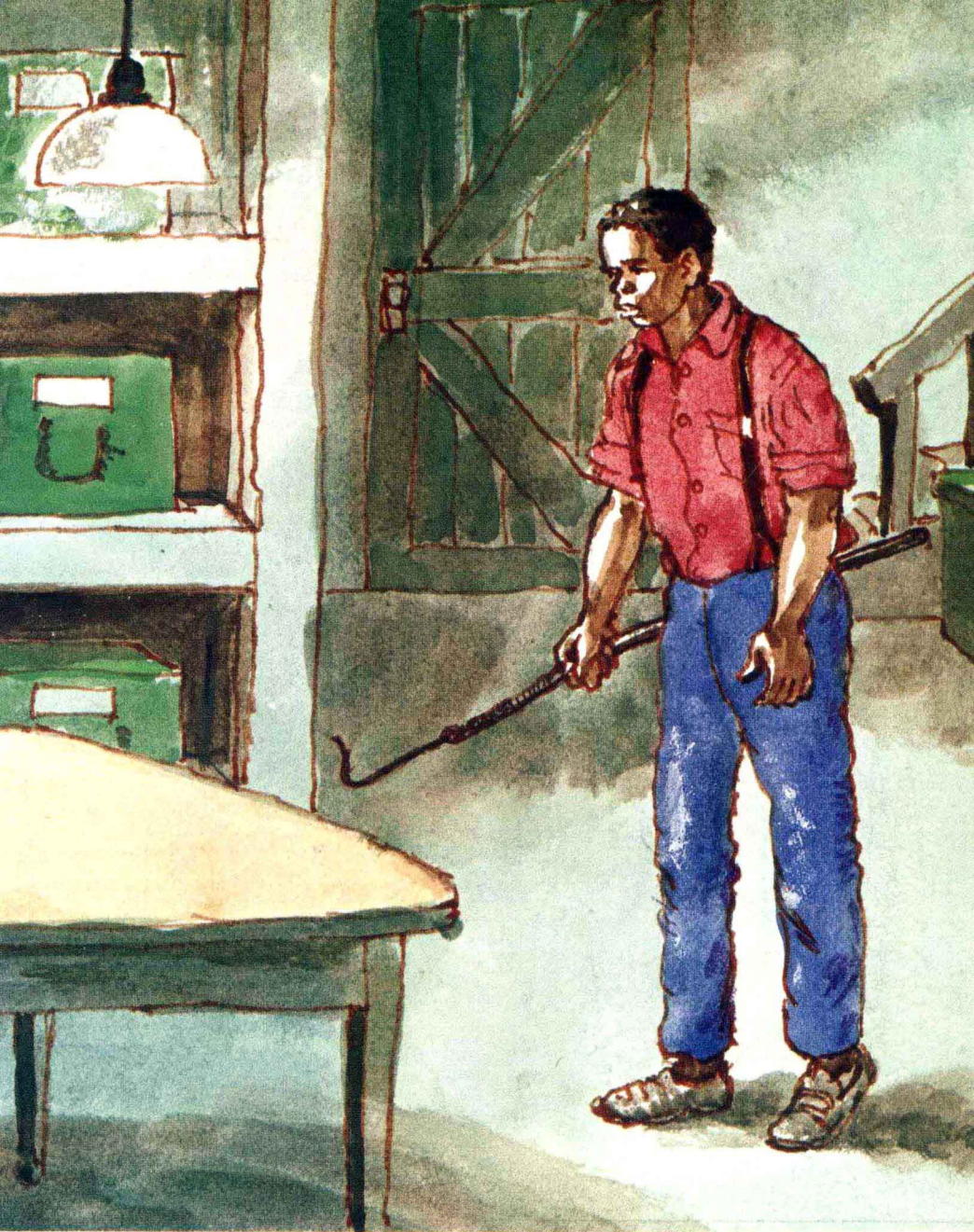
おかあさんは、ころぶようにして、家の中^{いなか}へかけこんで
いきました。見^みると清作^{せいさく}が、いろりの火^ひの中^{なか}に、両手^{りょうて}を
つつこんで、泣^なきわめいているのです。



おかあさんのことが心配で、清作は家にじっとしている
ことができません。暗い道を、村の峠のはずれまで、出
迎えに行くのでした。



せいさくは、まいばんのように、まつしまやの風呂をたきながら、風呂場のランプの明かりの下で、勉強しました。



うとします。アメリカへ渡った英世は、危険な毒へびの
けんきゆう つづ
研究を続けていたのです。



英世は、右指に力を入れ、へびの口をこじあけると、左手に持ったガラスぎらを、その口の中へ入れました。そのとたん、へびはガラスぎらを、がぶつと、かみくだこ



「わたしにはわからない」。これが英世^{ひてよ}の残^{のこ}した最後^{さいご}のこと
ばでした。彼は死^{かれ}ぬまぎわまで研究^{けんきゅう}のことを思^{おも}いつづ
けていたのでしょうか。

みなさんへ

野口英世のぐちひでよは、日本にっぽんが生んだ偉大なる医学者いぐくしやとして、世界じゅうの人々ひとびとから、うやまわれた人ひとです。

それでは、野口英世のぐちひでよは、どんなところに生まれ、どんな少年しょうねんだったのでしょうか。この少年しょうねんを育てたおかあさんは、どんな人ひとだったのでしょうか。

そして、世界じゅうの人々ひとびとから、うやまわれるようになったのは、どうしてでしょうか。

どんなえらい人ひとでも、はじめから、えらかったわけではありません。

野口英世のぐちひでよの、たゆまぬ努力どりよくはもちろんのことですが、かれのおかあさんや、先生せんせいや、仲なかのよかった友だちとも——これらの人々ひとびとの力が、どんなに大きなものであったか。みなさんは、この本ほんを読んで、これらのことを、よく、くみとってくださるよう、のぞみます。

須知すち
徳平とくへい

もくじ

母と子の心

磐梯山の爆発

15

左手のやけど

22

おかあさんの愛

29

貧しい家

38

三城潟のてんぼう

46

生長にえらばれる

55

新しい決心

61

たゆまない努力

小林栄先生

69

清作の作文

80

友情

87

医学への道	95
負けずぎらい	100
東京へ	105
フレキシナー博士	111
アメリカへ	118
世界のノグチ	125
毒へびの研究	125
眠らない日本人	132
おかあさんの手紙	139
なつかしい日本	145
黄熱病とのたたかい	153
あとがき	162
年表	166

母^{はは}と子^この心^{こころ}



磐梯山^{ばんだいさん}の爆発^{ばくはつ}

その日は、朝^{あさ}から風^{かぜ}もない、どんよりした、むし暑^{あつ}い日^ひでした。

へおれは、どうしたらいいんだろう。へ

清作^{せいさく}は、たたみ^{うゑ}の上に、ごろっと、よこになって、目^めをつむりました。